

平成18年12月7日発行

. * . " ~ " . * . _ . * . " ~ " . * . _ . * . " ~ " . * . _ . * . " ~ " . * . _ . * . " ~

担い手育成・品目横断的経営安定対策推進メールマガジン（第52号）

. * . " ~ " . * . _ . * . " ~ " . * . _ . * . " ~ " . * . _ . * . " ~ " . * . _ . * . " ~

インデックス

【1】品目横断的経営安定対策の秋期における最終加入申請状況がまとまりました！

【2】集落営農組織や法人の経営の多角化について専門家が無料で相談に応じます！ ~直売所、レストラン、観光農園など… 支援地区を募集中（12月14日まで）

（まちむら交流きこう発）

【3】地域の話題等

山室生産組合の取組

（京都府南丹市、近畿農政局発）

来年度の取組に向けた研修会の開催について

（北海道庁発）

【1】品目横断的経営安定対策の秋期における最終加入申請状況がまとまりました！

品目横断的経営安定対策については、9月1日から11月30日までの間、この秋に麦を作付ける農業者であって「収入減少影響緩和対策」に加入する農業者の方を対象として、加入申請を受け付けてきました。

本メールマガにおいても、これまでに3度、加入申請状況の途中経過をお知らせしてきましたが、このたび、最終の加入申請状況（速報値）をとりまとめ、農林水産省ホームページで公表しました！

<http://www.maff.go.jp/ninaito/menu8.html>

申請した経営体数は2万7,700経営体（認定農業者が2万4,646経営体、集落営農組織が3,054経営体）となるとともに、これらの方の麦の作付計画面積は24万3,885haとなり、18年産における4麦（小麦、二条大麦、六条大麦及び裸麦）の作付面積に対し、約9割の水準となりました。

なお、秋まき麦を作付けても、「収入減少影響緩和対策」には加入せず、「生産条件不利補正対策」だけに加入する農業者の方は、来年4月からの加入申請になります。

今回の加入申請状況については、全国各地の農業者の皆さん、農業団体などの関係機関の皆さんが、担い手育成に当たって様々な工夫や熱心な取組を行われた結果が反映されたものであると考えています。

今後は、4月に加入申請を控えている、米や大豆などの作物を作付ける農業者の方への対応が中心となりますが、引き続き、農林水産省としても、関係機関と連携・協力して担い手育成に努めていくこととしています。

この農閑期の中の地域での集会や家族との話合いの際に、品目横断的経営安定対策への加入、今後の地域農業や担い手問題を話題にしてみてもはいかがでしょうか？

【2】集落営農組織や法人の経営の多角化について専門家が無料で相談に応じます！
～直売所、レストラン、観光農園など・・・ 支援地区を募集中（12月14日まで）

（まちむら交流きこう発）

まちむら交流きこう（財団法人都市農山漁村交流活性化機構）では、中山間地域の集落営農組織や法人の経営発展についての相談に応じるため、専門家を現地に派遣する事業を行います。全国で5地区程度を予定しており、現在、支援を希望する集落営農組織や法人を募集中です。募集締切は12月14日（木）です。

この事業では、学識者や実践者を「地域経営アドバイザー」として派遣します。

アドバイザーは、

- ・楠本雅弘先生（山形大学農学部教授）
 - ・小田切徳美先生（明治大学農学部教授）
 - ・北川太一先生（福井県立大学助教授）
 - ・大和章利先生（花巻農業協同組合集落営農トータルアドバイザー）
 - ・吉弘昌昭先生（（農）ファームおだ代表理事、広島県農業経営指導スペシャリスト）
- の5名です。

営農条件が厳しい中山間地域では、労働力を確保するだけの収益を上げるのも難しいことから、地域資源を生かした直売所、レストラン、観光農園、体験農園などを通じて経営の多角化に取り組む集落営農組織や法人に対して、上記の専門家が無料でアドバイスします。

このような悩みを抱える地域の皆さん！ぜひご応募ください！お待ちしております

す。

なお、まちむら交流きこうでは、今回の相談活動の結果をとりまとめ、同じ悩みを抱える全国各地域の参考資料として活用することとしています。

- ・公募要領、申込書は、次のホームページからダウンロードできます。

http://blog.furusato.or.jp/machimura/2006/11/post_3.html

- ・問い合わせ先：

財団法人都市農山漁村交流活性化機構（愛称：まちむら交流きこう）

プロジェクトきこう部 地域経営アドバイザー担当

TEL：03-3548-2712 FAX：03-3276-6771

【3】地域の話題等

山室生産組合の取組

（京都府南丹市、近畿農政局発）

山室生産組合が所在する南丹市（平成18年1月に近隣4町の合併により発足）八木町山室地区は、京都府の中央部を流れる大堰川（おおいがわ）左岸に開けた平坦地で、土質は壤土の肥沃な農地が広がっています。また、古代から地方豪族の古墳が多数作られ、7世紀頃、国府が置かれたと伝えられる旧八木町は、歴史ある地域としても知られています。

同組合は、昭和61年、農作業の共同化により地域農業の振興と経営の安定向上を目的に設立され、集落38戸の農家で、地域の水田面積24haのうち8.8haを受託している集落営農組織です。

現在、米、小麦及び大豆を2年3作のブロックローテーションにより作付けを行っているところですが、基幹作業に従事するオペレーター5名も高齢化しつつあることから、地域内の農業経験にこだわらず、広く他産業からの就農者も含め地域の中核となる担い手を発掘することが、課題となっています。

また、平成16年からは、新たな取組として、タンパク含有量が多く製パン適性が高い品種「ニシノカオリ」

http://www.affrc.go.jp/seika/data_kinki/h16/02_sakumotu/p19/index.html

の栽培、水稻打ち込み直播新技術の導入のほか、国際ボランティア事業で消費者と交流を重ねるなど、幅広く地域の活性化にも取り組んでいます。

同組合は、今年で設立から20年になりますが、周辺の農家の中には、自己所有の農機具の更新時期とあわせ、同組合に農作業の委託等をしたいとの意向を持っている農家も多く、集落の総農用地のすべてを集積の目標とし、効率的・安定的な経営

を目指して品目横断的経営安定対策にも加入しました。

地域に密着し、時間をかけて周囲の信頼を勝ち得てきた同組合の取組は、他の集落のモデルケースのひとつとして大いに期待されるところです。

- ・ 問い合わせ先：近畿農政局経営課（TEL：075-451-9161）

来年度の取組に向けた研修会の開催について

（北海道庁発）

道担い手育成総合支援協議会は、11月16日、札幌市内にて、道内の各地域協議会担当者、市町村、農協、農業委員会職員等、約300人の参加者を対象に、「担い手育成指導者・担当者研修会」を開催しました。

この研修会は、地域段階での来年度の予算要求や方針検討作業等において、関係機関の意識統一、連携強化、体制の整備促進に資する情報を提供すること等を目的に行ったものです。

研修会では、農林水産省経営局の担当係長を講師に招き、19年度担い手育成・確保関連予算（概算要求）の概要、留意事項等を説明受けるとともに、これら国の支援メニューを活用した施策の組立てや地域協議会の体制強化の必要性・重要性について共通の認識が高まったほか、来春までに取り組む「第2次担い手育成・確保運動」や、認定農業者制度の運用改善等のポイントを説明することで、今後の取組の方向性について関係者の理解が深まったことと思われます。

また、先進事例として、ワンフロア化による共同事務局を設置して担い手の育成支援を行っている当麻町での取組を紹介し、19年度から類似の取組を予定している地域への波及も促されたことと思われます。

さらに、北海道農政事務所から、あらためて、秋まき麦作付者に対する収入減少影響緩和交付金の重要性や加入メリット、手続期限等を周知徹底し、加入者の掘り起こしを促すとともに、期間内生産量の登録等、今後の事務手続に係る説明を行い、加入漏れ防止と、一層の加入促進に努めたところです。

これらにより、19年度に向けて、的確な担い手の「育成・確保」や、効率的・効果的な事業の展開が推進されることが期待されます。

- ・ 問い合わせ先：北海道農政部農業経営課（TEL：011-231-4111（内線27-372））

< 編集後記 >

早いもので、12月に入り今年も残り1か月を切りました。12月7日は「大雪」(朝夕には池や川に氷を見るようになり霜柱を踏む、山々は雪の衣をまとって冬の姿となる頃)で、季節は本格的な冬に突入していきます。

冷え切った体を温めるには、ゆっくりとお風呂に浸かるのが一番。それも野趣溢れる露天風呂なら言うことなしです。屋外の冷え込みが強いほど湯気がモウモウと立ち昇り、温泉気分も盛り上がりますよね。

この露天風呂と同じ様な現象が、冬の日本海でも起きているそうです。冬型の気圧配置になると、大陸から日本海上を通過してマイナス20にも達する寒気が吹いてきますが、対馬暖流が流れる日本海は冬でも水温が10前後あり、その差が30にもなれば、ちょうど露天風呂のように海から湯気が立ち昇ることがあるそうです。

こうして日本海から立ち昇った湯気は、雪を降らせる雲を形成し、日本海側の地域を世界有数の豪雪地帯にしているということです。

本メルマガでは、皆様に活用されるメルマガを目指し、担い手育成活動の優良事例等を紹介していきます。皆様の地域での事例、本メルマガに対するご意見・ご感想などを下記のアドレスまでお寄せください。

電子出版：担い手育成・品目横断的経営安定対策推進メールマガジン

発行日：随時発行(週1回程度)

発行元：農林水産省 経営局 経営政策課

お問い合わせ先の電子メールアドレス：keiei_seisaku@nm.maff.go.jp

このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから。

<http://www.maff.go.jp/ninaite/mailmagazine.html>

農林水産省担い手ホームページもご覧ください！

～品目横断的経営安定対策を含む担い手への支援策、認定農業者数等、担い手情報満載！！～

<http://www.maff.go.jp/ninaite/>